

授業科目名	図画工作科教育法	教員名	山本 辰典 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択
					小学校教諭	必修
科目番号	SID210	配当年次	2年後期		幼稚園教諭	選択
					保育士	選択
授業形態	単独				こども音楽療育士	
単位数	2単位				情報処理士	
科目						
施行規則に定める科目区分						
一般目標	学習指導要領に示された図画工作科の目標や内容を理解する。また、基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。					
到達目標	<p>(1) 図画工作科の目標及び内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習指導要領における図画工作科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。</li> <li>2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。</li> <li>3) 図画工作科の学習評価の考え方を理解している。</li> <li>4) 図画工作科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</li> </ol> <p>(2) 図画工作科の指導方法と授業設計について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。</li> <li>2) 図画工作科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。</li> <li>3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。</li> <li>4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</li> </ol>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	<p>図画工作科の学習指導要領の目標、内容構成、指導計画の作成と内容の取り扱いを理解する。各学年で扱う造形遊び・絵に表す・立体に表す・工作に表す・鑑賞について、その目標と内容方法、評価、指導上の留意事項等について実技を取り入れながら体験的に学ぶ。図画工作科教科書を参考にし、指導したい内容を決定し、試作品をつくった上で、図画工作科学習指導案を作成する。製作活動における発達段階や図画工作科教育の歴史、生涯学習の視点、情報機器の活用例について知る。</p> <p>アクティブラーニングとして、各学生が自分の思いを持って作品に表現する。また、図画工作科教科書を参考にし、指導したい内容を決め、試作品をつくった上で、図画工作科学習指導案を作成する。さらに、全学生が導入部分の模擬授業を行い、良かった点、改善すべき点を話し合う。</p> <p>授業形態は演習とする。</p>					
履修条件・注意事項	「図画工作」を履修し、基礎技能を身に付けてから、「図画工作科教育法」を受講してほしい。					
授業計画	<p>第1回：授業計画及び「鑑賞レポート」「図画工作科学習指導案」についての説明を聞く。 図画工作科の目標及び内容構成を理解する。 水彩絵具の技法を知る。(目標(1)-1), 2), 4))</p> <p>第2回：図画工作科の内容構成と指導計画の作成と内容の取扱いを理解する。 加法混色と減法混色について知る。感情を表現する。(目標(1)-1), 2), 4))</p> <p>第3回：ローウェンフェルドによる子どもの絵の発達段階について知る。 紙版画の版をつくる。(目標(1)-1), 2), 4) (2)―1))</p> <p>第4回：図画工作科各学年の目標を理解する。 紙版画の印刷をする。(目標(1)-1), 2), 4))</p> <p>第5回：A表現イ「絵や立体、工作に表す」の内容を理解する。 水彩絵具の具のタッチとストロークについて体験的に理解する。(目標(1)-1), 2), 4))</p> <p>第6回：B鑑賞〔共通事項〕の内容を理解する。 教材研究をしている教材の試作をする。(目標(1)-1), 2), 4))</p> <p>第7回：A表現ア「造形遊び」の内容を理解する。 図画工作科学習指導案の書き方を理解する。 造形遊びを体験的に理解する。(目標(1)-1), 2), 4) (2)―1), 3))</p> <p>第8回：図画工作科教育の歴史について知る。 木版画について学ぶ。彫刻刀の使い方を体験的に学ぶ。(目標(1)-1), 2), 4))</p> <p>第9回：海外の美術教育理論について知る。 木版画の彫りをする。(目標(1)-2), 4))</p> <p>第10回：生涯学習における造形活動について知る。</p>					

	<p>木版画の刷りをする。目標(1)-2),4)</p> <p>第11回：対話的鑑賞法について知る。 模擬授業①模擬授業と研究討議を行う。(目標(1)-4)(2)-1)2),3),4))</p> <p>第12回：構成美の要素について知る。 模擬授業②模擬授業と研究討議を行う。(目標(1)-4)(2)-1)2),3),4))</p> <p>第13回：図画工作の評価内容と方法を知る。 模擬授業③模擬授業と研究討議を行う。(目標(1)-3)(2)-1)2),3),4))</p> <p>第14回：ICTを使った図画工作の実践例について知る。 模擬授業④模擬授業と研究討議を行う。(目標(2)-1)2),3),4))</p> <p>第15回：これまでの学びを振り返る。 アニメーション制作アプリ「KOMA KOMA」を使ってアニメーションを制作する。 (目標(2)-2))</p> <p>期末試験</p>
授業外学修時間の確保について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にアイデアスケッチをするなどの課題を課す場合がある。その際は各自製作したいイメージをスケッチしてくること。必要に応じて、課題に関わる図書等を参考にすること。</li> <li>・「鑑賞レポート」は、実際に美術館や博物館等で開催される展覧会に足を運んだ上で、その展覧会を鑑賞して気づいたことや学んだことを原稿用紙2枚(ワードで800字)程度にまとめて提出すること。</li> <li>・授業時間内に作品は完成しない。各自時間をかけて、納得できるものとなるよう追究して仕上げる。作品の提出期限を示した提出作品チェックリストを配布するので、計画的に時間外学習をすすめてほしい。</li> <li>・学習指導案作成にあたっては、自分が作成する学年の図画工作科教科書や指導資料等を図書館から借りるなどして目を通し、参考にしながら作成する。模擬授業にあたっては、事前に担当教員と相談した上で学習指導案を完成させる。提示する教材を作成した上で模擬授業の流れをイメージし、自信を持って臨めるようにしてほしい。</li> <li>・時間外学習についての道具や教室については、事前に担当の山本にメールで確認すること。</li> </ul>
学生に対する評価	<p>期末試験40% 作品35% 指導案10% 小テスト5% 鑑賞レポート5% 模擬授業の振り返り5%</p> <p>なお、作品・学習指導案などの提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品については、授業中に鑑賞する機会を持つ。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> </ul>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて担当教員より資料を配布する。</li> </ul>
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考書・参考書等： 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編』</li> </ul>
担当者からのメッセージ	<p>意欲を持って作品制作をすれば、図画工作科に関わる、技能・感性・創造性を大きく伸ばすことができる。やり直しをいとわず、よいものをつくろうとする探究心を持って取り組んでほしい。</p>
オフィスアワー	<p>毎週月曜日 16:20~17:00 Email: <a href="mailto:tyamamoto@miu.ac.jp">tyamamoto@miu.ac.jp</a></p>
備考	<p>事前に学生準備物を示すので、忘れず準備すること。道具等の購入場所が分からない場合は担当教員に相談すること。</p> <p>担当教員は、小学校・高校における教員(美術)としての経験を活かし小学校における図画工作についての講義を行う。</p>